

専門医養成支援センター

Center for the Advancement of Medical Training

センター長（兼）教授	戸邊 一之	Kazuyuki Tobe
副センター長（特命准教授）	石木 学	Manabu Ishiki
コーディネーター	宮 一志	Kazushi Miya
コーディネーター	北條 莊三	Shozou Houjou
コーディネーター	角 重喜	Shigeki Sumi

◆ 著 書

- 1) 北條莊三, 澤田成朗, 塚田一博:「肝膿瘍ドレナージ術」消化器外科臨時増刊 外科医当直医必携, 835-836, へるす出版, 2010

◆ 原 著

- 1) Kazuaki Fukahara, Keiju Kotoh, Toshio Doi, Takuro Misaki, Shigeki Sumi: Impact of preoperative atrial fibrillation on the late outcome of off-pump coronary artery bypass surgery. *European Journal of Cardio-thoracic Surgery*, 38: 366-372, 2010.
- 2) Hiroaki Fushiki, Masayuki Ishida, Shigeki Sumi, Akira Naruse and Yukio Watanabe: Correlation between canal paresis and spontaneous nystagmus during early stage of acute peripheral vestibular disorders. *Acta Oto-Laryngologica*, 130: 1352-1357, 2010.

◆ 症例報告

- 1) 福島泰男, 福井康貴, 赤羽 崇, 小橋親晃, 藤坂志帆, 岩田 実, 石木 学, 宇野立人, 薄井 勲, 山崎勝也, 川口善治, 戸邊一之, 浦風雅春: IUCD が誘因となり子宮内感染から化膿性脊椎炎を発症した 2 型糖尿病の 1 例. *Diabetes Journal*, 38(4) : 164-167, 2010.

◆ 学会報告

- 1) Kamura Y., Iwata M., Fukushima Y., Kobashi C., Murakami S., Asamizu S., Ishiki M., Takano A., Usui I., Temaru R., Yamazaki K., Urakaze M, Higuchi K., Akagawa N., Katou H., and Tobe K.: Study of the relationship between the risk allele score for type 2 diabetes mellitus and the clinical presentation. 70th Scientific Sessions of american diabetes association, 2010, 6, 25-29, Orland.
- 2) Manabu Ishiki, Hiroshi Ishibashi, Isao Usui, Masaharu Urakaze, Kazuyuki Tobe: The effect of Astaxanthin, a strong antioxidant, on reactive oxygen species or insulin signaling *in vitro*. 46th Annual Meeting of the European-Association-for-the-Study-of-Diabetes, 2010, 9, 20-24, Stockholm.
- 3) Iwata M., Kamura Y., Kobashi C., Ishiki M., Usui I., Yamazaki K., Urakaze M., Tobe K., Takano A., Temaru R., Kato H., Murakami S., Akagawa N., Fukushima Y., and Higuchi K.: The risk allele score for type2 diabetes mellitus were associated with age of diagnosis and basal insulin secretion in Japanese population. 46th Annual Meeting of the European-Association-for-the-Study-of-Diabetes, 2010, 9, 20-24, Stockholm.
- 4) Urakaze M., Fukushima Y., Kobashi C., Okazawa T., Takikawa A., Iwata M., Ishiki M., Usui I., Yamazaki K., and Tobe K.: A case report of gas-producing infectious spondylitis in a type 2 diabetic patient. 14th International Congress of Endocrinology, 2010, 3, 26-30, Kyoto.
- 5) Kanatani Y., Usui I., Fujisaka S., Matsuya Y., Senda S., Takikawa A., Aminuddin Aminuddin, Ishiki M., Urakaze M., and Tobe K.: The effect of SIRT1 activator on inflammation and oxidative stress in white adipose tissue od high fat-fed mice. 14th International Congress of Endocrinology, 2010, 3, 26-30, Kyoto.
- 6) Fujisaka S., Usui I., Agussalim Bukhali, Kanatani Y., Senda S., Yamazaki Y., Suzuki H., Ishiki M., Aminuddin Aminuddin, Urakaze M., and Tobe K.: Regulatory mechanisms for adipose tissue M1 and M2 macrophages in diet-induced obese mice. 14th International Congress of Endocrinology, 2010, 3, 26-30, Kyoto.
- 7) 石木 学, 石橋 博, 小橋親晃, 薄井 勲, 浦風雅春, 戸邊一之: 抗酸化剤アスタキサンチンの多岐に渡る代謝作用への効果の検討. 第 53 回日本糖尿病学会年次学術集会, 2010, 5, 27-29, 岡山.

- 8) 佐々木悦子, 久保雅寛, 赤川直次, 石木 学, 瀬川展代: 外来糖尿病学習クリニカルパス「糖尿病教室 DM 御飯会」を実施した効果の検討. 第 53 回日本糖尿病学会年次学術集会, 2010, 5, 27-29, 岡山.
- 9) 岩田 実, 加村 裕, 瀧川章子, 小橋親晃, 石木 学, 薄井 勲, 山崎勝也, 浦風雅春, 戸邊一之: 2 型糖尿病患者における CPR index (CPI) を用いた治療選択法の妥当性の検討 (第 3 報). 第 53 回日本糖尿病学会年次学術集会, 2010, 5, 27-29, 岡山.
- 10) 金谷由紀子, 薄井 勲, 藤坂志帆, 山崎 夕, 瀧川章子, 鈴木ひかり, 仙田聡子, Aminuddin, 石木 学, 浦風雅春, 戸邊一之: SIRT1 の活性化が肥満マウスの白色脂肪組織の炎症と酸化ストレスに与える影響. 第 53 回日本糖尿病学会年次学術集会, 2010, 5, 27-29, 岡山.
- 11) 鈴木ひかり, 薄井 勲, 加藤一郎, 金谷由紀子, 石木 学, 浦風雅春, 高沢 伸, 岡本 宏, 笹原正清, 小林 正, 戸邊一之: PDGF- β 受容体の欠損は, インスリン分泌低下型糖尿病モデルマウスの尿アルブミンを減少させる. 第 53 回日本糖尿病学会年次学術集会, 2010, 5, 27-29, 岡山.
- 12) 仙田聡子, 井上 篤, 鈴木 亮, 亀井 望, 渡辺 拓, 薄井 勲, 石木 学, 金谷由紀子, 藤坂志帆, 瀧川章子, アミノディンアミン, 浦風雅春, 門脇 孝, 戸邊一之: カロリー制限と $\beta 3$ アドレナリン受容体作動薬はインスリン受容体基質 (IRS)-2 欠損マウスのレプチン抵抗性を改善させる. 第 53 回日本糖尿病学会年次学術集会, 2010, 5, 27-29, 岡山.
- 13) 藤坂志帆, 薄井 勲, アグッサリム ブクハリ, 生谷尚士, 金谷由紀子, 山崎 夕, 鈴木ひかり, 仙田聡子, 石木 学, アミノディン, 瀧川章子, 浦風雅春, 小林 正, 戸邊一之: 脂肪組織 M1/M2 マクロファージとインスリン抵抗性の関連について. 第 53 回日本糖尿病学会年次学術集会, 2010, 5, 27-29, 岡山.
- 14) 加村 裕, 岩田 実, 朴木久恵, 小橋親晃, 石木 学, 薄井 勲, 山崎勝也, 浦風雅春, 高野敦子, 村上史峰, 加藤弘巳, 浅水幸恵, 福島泰男, 手丸理恵, 井窪万里子, 澤崎茂樹, 五十嵐保文, 小田寛文, 多喜和子, 赤川直次, 樋口清博, 宮元 進, 大家理恵, 八木邦公, 戸邊一之: 遺伝子多型による risk allele score と 2 型糖尿病との関連性についての検討. 第 53 回日本糖尿病学会年次学術集会, 2010, 5, 27-29, 岡山.
- 15) 岩田 実, 加村 裕, 朴木久恵, 小橋親晃, 石木 学, 薄井 勲, 山崎勝也, 浦風雅春, 戸邊一之, 高野敦子, 村上史峰, 加藤弘巳, 浅水幸恵, 福島泰男, 赤川直次, 手丸理恵, 井窪万里子, 小田寛文, 宮元 進, 大家理恵, 樋口清博, 多喜和子, 五十嵐保文, 沢崎茂樹, 八木邦公: 遺伝的リスクスコア (Genetic risk score) は糖尿病診断時年齢やインスリン分泌能と関連する. 第 22 回分子糖尿病シンポジウム, 2010, 12, 4, 東京.
- 16) 宮 一志, 高崎麻美, 堀江貞志, 渡辺裕紀, 倉本 崇, 原井朋美, 藤木靖子, 本郷和久, 宮脇利男: Topiramate の投薬を契機に突発性の興奮状態が出現するようになった外傷後てんかんの一例, 第 44 回日本てんかん学会, 2010, 10, 14, 岡山.
- 17) 宮 一志, 赤羽 崇, 藤木靖子, 足立陽子, 宮脇利男: けいれんを契機に発見されたビタミン D 欠乏性低カルシウム血症の 1 歳男児例, 第 299 回日本小児科学会北陸地方会, 2010, 6, 13, 福井.
- 18) 宮 一志, 本郷和久, 宮脇利男: 頭蓋内胚細胞腫瘍の中樞神経合併症に関する検討, 第 52 回日本小児神経学会総会, 2010, 5, 20, 福岡.
- 19) 北條莊三, 吉田 徹, 小島博文, 山口哲司: 大腸癌術後腸閉塞に対する大建中湯を用いた治療, 第 46 回日本腹部救急医学会総会, 2010, 3, 富山.
- 20) 北條莊三, 吉田 徹, 森山亮仁, 小島博文: 十全大補湯投与と大腸癌患者のリンパ球数との関係, 第 110 回日本外科学会定期学術集会, 2010, 4, 名古屋.
- 21) 北條莊三, 吉田 徹, 吉岡伊作, 松井恒志: 十全大補湯術前投与が大腸癌患者の術後リンパ球数に及ぼす影響, 第 65 回日本消化器外科学会定期学術総会, 2010, 7, 山口.
- 22) 北條莊三, 吉田 徹, 平野勝久, 神山公希: ダブルバルーン内視鏡にて局在を確認し腹腔鏡下にて手術を行った下血により発見された回腸異所性腺の 1 例, 第 23 回日本内視鏡外科学会総会, 2010, 10, 横浜.
- 23) 北條莊三, 吉田 徹, 松井恒志, 塚田一博: モーズペースト外用により出血制御が得られた肛門管癌局所再発の 1 例, 第 65 回日本大腸肛門病学会学術集会, 2010, 11, 浜松.

◆ その他

- 1) 石木 学: 「文部科学省 GP 高度医療人養成推進事業報告」 文教協会大学教育改革プログラム合同フォーラム, 2010, 1, 東京.
- 2) 石木 学: 「文部科学省 GP 高度医療人養成推進事業報告」 地域を担う人材の育成シンポジウム, 2010, 4, 富山.
- 3) 石木 学: 「文部科学省 GP 高度医療人養成推進事業報告」 富山大学附属病院専門研修説明会, 2010, 6, 富山.

- 4) 石木 学：「メタボリックシンドローム」 富山大学公開講座，2010，7，富山.
- 5) 石橋 博，石木 学，小橋親晃，薄井 勲，浦風雅春，戸邊一之：「アスタキサンチンのインスリン作用への影響の検討」 第6回アスタキサンチン研究会，2010，9，東京.
- 6) 石木 学：「糖尿病療養指導士の役割・機能・糖尿病の概念」 日本糖尿病療養指導士認定機構 第11回受験者用講習会，2010，11，名古屋.
- 7) 北條莊三：「老化すると，がんは本当に増えるの？」 富山県医学市民公開講座 第10回がん治療最前線 がんと老化，2010，1，富山.
- 8) 北條莊三：大腸癌周術期における十全大補湯投与とリンパ球数の関係. 富山外科漢方研究会，2010，6，富山.
- 9) 北條莊三：当科における腹腔鏡下右半結腸切除術. 富山外科手術カンファレンス，2010，9，富山.